



教育情報 **桂川っ子**

【問合先】桂川町教育委員会 ☎65・1149



題字：桂川中学校美術部  
田中 夕菜 さん

■不登校生徒への  
取組について

桂川中学校 校長 深見秀人

不登校の問題については、福岡県ですでに4千人を上回っています。桂川中学校の不登校生徒数は、昨年度より減少傾向にあります。本校では、不登校を生まない環境づくりの基盤となる生徒にとって魅力ある学校づくりを進め、全教育活動を通じて「心の居場所づくり」「絆づくり」を重視した取り組みを行っております。また、昨年度より中一不登校対策強化事業にも取り組ませていただき、学校だけでなく、民生児童委員や主任児童委員、ケースワーカーとの連携、スクールカウンセラーとのカウンセリングなど新たな不登校生徒を出さないという姿勢で活動を進めています。さら

には、従来からの福岡県独自の取り組みとしての「マンツーマン」方式による不登校生徒への対応も行っており、その結果、学校復帰を果たす生徒、学級まで行けないが、サポート教室で学級への復帰の準備をする生徒もいます。また、桂川町周辺のフリースクールや適応指導教室に参加する生徒もいます。今後不登校への対応の充実を図るために「未然防止」「早期対応」「きめ細かで継続的な支援」を行い、不登校問題の解消に向けて取り組んでいきます。

■桂川町の児童生徒の  
学習状況・生活実態

桂川町教育委員会

10月号に引き続き本年度の「全国学力・学習状況調査」から見える桂川町の児童・生徒の状況を報告します。

調査では学力の状況だけでなく、学習の状況や生活実態も見えてきます。調査対象は小学六年生と中学三年生です。

下の表は、小学校・中学校ともに全国平均よりも良好であると思われる項目と課題であると捉えられる項目です。

子どもたちへの意識調査からは、学校生活に意欲的に取り組んでいることがうかがえます。また、「友達関係」や「規範意識」の項目のポイントも高く、心の面も育ちつつあるようです。しかし、改善を必要とする項目としては、  
○朝食の不摂取（朝、起きるのが遅い）  
○家族の会話の減少（携帯電話やスマートフォンでの長時間使用）  
○地域や社会への無関心  
など、家庭生活や地域社会での課題が浮かび上がってきています。

学校では、「望ましい生活習慣の定着」のため、さまざまな取組をしています。ご家庭でも早起きをさせて、しっかりと朝食を食べさせて学校に送り出すことや家族の会話を増やすなど、生活リズムの定着と子どもとのふれ合いを大事にする環境づくりをよろしくお願ひします。



【全国平均を上回っている項目】

- 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている
- 家で学校の復習をしている
- 学校に行くのは楽しいと思う
- 学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思う
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- 学校のきまりを守っている人の気持ちが分かる人間になりたいと思う
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- 人の役に立つ人間になりたいと思う

【全国平均と比べて改善を必要とする項目】

- 朝食を食べないことが多い
- 普段（月～金曜日）、1時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている
- 家の人と学校での出来事について、あまり話をしていない
- 今住んでいる地域の行事に、あまり参加をしていない
- 地域や社会で起こっている問題や出来事にあまり関心がない
- 新聞をあまり読んでいない